

スクラム

～ 立志・挑戦・感動～

浮羽中学校学校通信

第8号(5月13日発行)
文責 校長 高倉 満

「努力」が生み出すものは～努力をさぼっている人たちへ～

5/16(木)、5/17(金)中間テストが実施されます。生徒の皆さんは中間テストに向けて今までに頑張っていると思います。My 学力向上プランで目標平均点も決めたとと思います。

中間テストが終わって返ってきた答案を見て、皆さんはどんな感想を持つでしょうか。「あんなに勉強したのに、だめだった。どうしてだろう。」「計画的に頑張ったから予想通り好結果だった。」「目標点数を達成した。次は目標を高くしよう。」「全然勉強していなかったのだからだめだった。」「どうせ分からないからもうしない。テストなんてどうでもいい。」「いろいろな思いがあると思います。「努力しても悪かった。どうしてだろう。」「全然勉強していませんので悪かった。」「こんな感想を持った生徒さんなら、思うようにいかなかった結果の原因を考えようとしたり、悪い結果の原因を自分の勉強不足と分かっているのだから次回への頑張りが出てくると思います。しかし、**「テストなんかどうでもいい。」「どうでもいいから勉強しない。」**そんな思いの生徒さんがいるのなら、絶対考え直しをしなくてははいけません。中体連でも同じようなことがあります。「いくら練習しても自分には才能がないから、どうせ負ける、毎日の練習どうでもいいなあ。」そんな考え方では、技術も上達せず、試合にも勝てないのです。そんな考えを直して、「努力することの大切さ」についてしっかり考え、努力を継続できる生徒にぜひなって欲しいと思います。

5/16(木)、5/17(金)1学期中間テストがあります。1年生にとっては最初の定期テストです。5/14(火)から部活動中止ですから、子どもたちにとっては勉強出来る時間はたくさんあるわけです。何が大切なところか、どこを重点的に学習していただらいのか、〇〇先生はどこを重要と言っていたか等をしっかりと考えて、準備をしてテストに臨んでいって欲しいと思います。学習計画表を作っています。計画的に家庭学習が進んでいるか確認をされ、ご家庭でもお子さんへの「叱咤激励」よろしくお願ひします。また各教科ワークやノートの提出があります。テスト範囲がしっかりとやれているか再度見直しをしてください。同じ内容を何度も繰り返して学習をしてください。今まで言ってきたように、学習をした内容を定着させるには復習、そして復習です。

最近気になることが！

■先生方と話しをしていて、「教室や部活で友だちや後輩への悪口があり指導しました。」という事を聞きます。非常に残念でたまりません。悪口を言うと必ずきつい思いをし、不安でたまらなくなる友だちがいます。あなたは、そんな友だちに気づいていますか。悪口を言われた人、また聞いた人も、不快で嫌な気持ちになります。

悪口はマイナスの感情しか生みません。「悪口を言わない」そんな人になってほしいと強く思います。ぜひ、自分の言動について振り返ってみてください。

★悪口を言うと意地悪そうな顔になる！

人の悪口を言っている時、脳の中では自分が自分自身へ悪口を言っているように感じて傷つき、みにくい顔になっているのだそうです。そのため、悪口を言う人は年齢を重ねるにつれて、だんだん意地悪い顔になってしまうそうですよ。

★悪口を言うと周りの人から信用されなくなる！

悪口ばかり言っている人を見ると「自分がいない所では自分の悪口を言っているかもしれない。」と勝手に思ってしまう。そんな人は周りから絶対に使用されなくなりますよ。

★悪口を言うと周りの人から悪口を言われるようになる！

自分の悪口を言う人を好きには絶対になりません。人の悪口を言えば言うほど、その人たちから嫌われ、反対に悪口を言われるようになりますよ。